



楽しく子育て!

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第167号

発行日

2021年7月19日

毎月19日は、「かがわ育児の日」

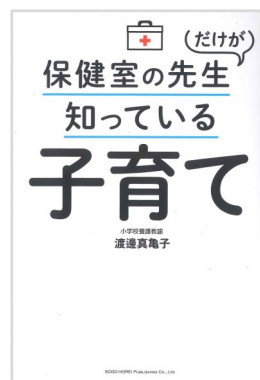


★司書のオススメ本～7月の新着図書から～

『保健室の先生だけが知っている子育て』
渡邊 真亀子／著 総合法令出版／刊 2021.6

成績やいい子かどうかは関係なく、保健室に行けば「どうしたの?」と気にかけてくれる保健室の先生は、子どもたちにとって、特別な存在。だから、子どもたちは自分の気持ちを話しやすいそうです。

養護教諭として多くの子どもたちの信頼を得て、悩みを聴いてきた著者が、子どもの心と体を育てるために必要な親子の上手な関わり方を分かりやすく説明してくれています。



『訪問調理師ごはんさんの野菜大好きレシピ』
ごはんさん／著 徳間書店／刊 2021.5

ごはんさんの野菜を使ったレシピは、小学校の給食調理師をしていたとき、子どもたちの好きな味付け、野菜の切り方、味覚を研究した成果を活かしたものだそうです。

掲載されている料理は、見た目もすごくおいしそうです。親子で写真を見ながら作りたいものを選ぶのも楽しいですよ!



<7月の新着図書～新しくこんな図書が入りました～> () は棚番号と内容です。

(支援1-2 妊婦のエクササイズ)

・『魔法のマタニティヨガ 産前・産後の不調がみるみる整う』
B-LIFE／著 世界文化ブックス／刊

(支援2-1 手づくりおもちゃ・小物)

・『顔ごはんと顔おやつ みんな笑顔で、いただきます!』
アップルミンツ／刊

(支援2-5 保育園)

・『保育の質を向上させる園づくり』
田澤 里喜／著 世界文化ワンダークリエイト／刊

(支援3-3 子育てヒント)

・『イラストでわかる自己肯定感をのばす育て方』
諸富 祥彦／監修 池田書店／刊

(支援3-5 ひきこもり)

・『ひきこもっても元気に生きる』
高井 逸史／[ほか]編著 新日本出版社／刊

(支援4-1 父親の育児)

・『パパの家庭進出がニッポンを変えるのだ!』
前田晃平／著 光文社／刊

(支援4-2 赤ちゃんと遊ぼう)

・『あそびアイデアBOOK 赤ちゃんと一緒に楽しむ』
開 一夫／監修 朝日新聞出版／刊

(支援4-5 学力)

・『高校受験は「内申点アップ」が9割』
桂野 智也／著 青春出版社／刊

(支援5-1 特別支援教育)

・『発達障害を家族で乗り越える本』
宮尾 益知／監修 河出書房新社／刊

(支援5-2 体力)

・『成功する子は「やりたいこと」を見つけている』
中曾根 陽子／著 青春出版社／刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

季節のお役立ち本～夏のお母さんの心と体をリフレッシュできる趣味本～

現在、子育て支援コーナーで開催している企画展示「夏のお母さんを応援する本！」の中で、時短家事・料理、子どもとのコミュニケーションの本は貸出がとても多い一方で、お母さんのための趣味の本だけ、貸出が少なめです。気軽にできる趣味の本を集めたつもりでしたが、子育て中のお母さんは、自分の趣味までは、なかなか手が回らないのだろうと思います。

これからの長い夏休み、お母さんはさらに忙しくなります。心身の疲れを上手くりフレッシュして、毎日頑張っている自分のことも応援してあげてほしいと思う今日この頃です。



『花1本からはじめる基本のフラワーアレンジ』 森美保／監修・制作 成美堂出版／刊

フラワーアレンジの基本を、花1本の飾り方から道具選びや花のケアまでを分かりやすく説明しているのので、初めての方でも気軽に始めることができます。

疲れた時、飾っているお花を見ていると、ホッとて、やさしい気持ちになれますよ。お花のある生活を是非体験してみてください！

●企画展示「夏のお母さんを応援する本！」の中には、他にもこんな本があります。

・『ボトルアクアリウム 小さな容器で楽しめる“癒しの水草レイアウト”』

千田義洋／監修 日東書院本社／刊

・『どんぶり金魚の楽しみ方 世界でいちばん身近な金魚の飼育法』

岡本信明, 川田洋之助／著 池田書店／刊



・『はじめてのアロマテラピー 香りを楽しむ癒される』 梅原亜也子／監修 学研パブリッシング／刊

・『魔法のヨガ 自律神経みるみる整う』 B-life／著 実業之日本社／刊

・『ハーブティー図鑑 植物の力で癒やす』 主婦の友社／編集・発行



・『人生が変わる経絡リンパマッサージ』 渡辺佳子／著 主婦の友社／刊

<子育て支援担当より>

毎年、やっとの思いで乗り越えてきた息子の夏休みが、今年から少し長くなり、8月31日までになりました。母としては、数日でも長くなるのは、体力的に厳しいと思う一方で、子どもには、うれしいことなのだとも思いました。

去年までの息子は、お盆の後、バタバタと宿題を片付けて学校に行っていました。今年は少し心に余裕を持って、普段はできないことや、やってみたかったことに挑戦してほしいと思っています。